平成 30 年 8 月 27 日（火）発行

港地域ささえあい講座通信　第3号

今こそ，あなたの地域デビューの時ホッとする，つながる・ささえあう港地域づくりをめざして

事務局：〒425-0042　焼津市石津港町 40-1　焼津港公民館内　Tel: 054-624-8855 Fax: 054-623-8504

いよいよ，あと講座開講までわずか！
第 3 回実行委員会では，楽しい学習を創るプログラムを協議

8 月 18 日（土）開催した「第 3 回実行委員会」では，7 月 28 日開催予定であった「第 2 回実行委員会」が台風で書類確認としたため，第 2 回協議確認事項を含めた協議となったこと，また，これまで 2 年間継続してきた講座から浮き彫りになった課題改善解決に向けて，これまで試みていない「生活支援研究会」を今年度は実行委員会の中に組み入れたため，予定時間を大幅に超えた展開となったが，出席した各委員は終始熱心に取り組まれた．

今年度の「ワークショップ」は，新たな取組みとして「円卓議論方式」を展開するに当たり，各委員は，体験的，実践的研修として，その雰囲気を試みる機会とした．「円卓議論方式」とは，既存の机を使用せず，「段ボール」を円形にカット（直径約 1 メートル）し，その周辺に参加者が着席（約 7 名）し，討論する手法．事前の段ボールカット作業も委員が手づくりで製作した．

まもなく開催される，第 1 回講座を迎えるにあたり，今回の協議では，講座の具体的な展開を確認するとともに，総合司会担当者（平田高弘委員・河野惠介委員）は，本番に向け，きめ細かい進行表を作成し打合せをした．

6 月下旬から，河野委員中心に編集作業に取り組んできた「平成 30 年度港地域ささえあい講座テキスト」は，A4 版・72 ページ．講師からも早々にレジメ原稿の提供をしていただき，予定通り完成した．

また，アイスブレーク（自主的企画―歌声喫茶―）に活用する「歌集」も，今回講師として協力いただく，島田市の鈴木祥郎氏と連絡を取りながら，橋本委員中心に選曲作業し，このたび出来上がった．準備 8 割は整った今，実行委員相互の連携で，地域学習をいかに「楽しく学び合うか」の学習環境の演出である．なんといっても，「集める講座ではなく，集まる講座」の努力が今から始まる．定員 30 名をめざして．

■第 2 回生活支援研究会「テーマ：居場所の立ち上げ」まとめ（意見交換からの集約）

1. 「なぜ，今居場所か」地域社会を取り巻く現状を把握をした上で，地域性をもとに具現化していくこと．例えば，
   (1) 「さわやかクラブ」の解散で，高齢者同士が集まる機会がなくなった．
   (2) 世帯の増加で，近隣同士の交流が希薄化してきた．
   (3) 「公会堂」の有効活用を地域現状と照らし合わせて考える．
   (4) 世代間交流の必要性
   (5) 公共施設を地域住民の交流する場に解放できないか　…etc.
2. 運営は，住民主体で取り組み，コミュニティ組織がどう関わることが必要か．また，対等に運営できる環境設定に努め，受身的依存的運営に陥らない合意形成．お客さんではなく，運営に一人一人が関われる柔軟な環境づくりが求められる．
3. 有償か無償か，財源確保を考える．コミュニティ組織の予算化，福祉機関・団体からの助成制度の有効に活用し，継続化に努める．
4. 地域住民への広報啓発の必要性．特に若い世代への働きかけ．

＊　次回（9/29）第 4 回生活支援研究会は，「買い物支援事例から課題解決を探る」

めざします！今年度の「港地域ささえあい講座」の特色」は……

(1) 港地域づくり推進会（第 14・第 23 自治会地域組織）の具体的な福祉関連事業による地域活性化
(2) 財源（コミュニティ活動集団助成 2 年目，焼津市公益活動補助金事業）【新規】
(3) 住民主体の啓発学習の取り組みにより，多くの地域住民に「福祉を学びあう」機会を積極的に呼び掛ける（地域課題発見と改善・解決努力による実践活動「共助」を探る）
(4) 管内 13 の介護事業所との連携
(5) 実践的体験型福祉施設体験研修プログラムの開拓【新規】
(6) IT 部会設置と HP 立ち上げ及び QR コード作成による広報啓発の具体化
(7) 若者の積極的な参加開拓努力（e.g. 中学校，企業…etc.）【新規】
(8) 実行委員会の中に生活支援研究会（ワークショップ）を設置【新規】
(9) 動員型研修会から，住民参加型研修会実現への努力
(10) 身近な地域社会における講座に取り組み，焼津市全体への啓発の努力
(11) 「講座テキスト」「講座通信」「報告書」「DVD 制作」の編集発行
(12) 本事業は，17 の機関・団体の後援承認による実現.

★ **講座の HP を立ち上げています.**
若い世代に，「本講座」を啓発し，世代を超えて「ささえあい」(共助)の必要性を呼びかけるために，講座の HP を立ち上げています．詳細は，港地域づくり推進会事務局（港公民館）まで.

★ **講座の DVD 製作に取り組んでいます.**
山中義実氏（港第 14 自治会副会長）の協力と河野惠介実行委員（常葉大学 4 年生・静岡福祉文化を考える会委員）の協力により，本講座の DVD（約 30 分）製作に取り組んでいます.

★ **「平成 30 年度港地域ささえあい講座報告書」の作成を計画しています.**
- 平成 30 年 2 月 23 日発行目標に，今年度の講座報告書を作成に取り組んでいます.
- 章立ては, 第 1 章…3 年を総括　第 2 章…本年度の取組み　第 3 章…ワークショップの成果　第 4 章…講座から見えたもの　第 5 章…総括　第 6 章…資料編　　余白に「写真」を挿入

平成 30 年度　港地域ささえあい講座プロセス（07/28～08/27）

07/28
- 台風 12 号のため，第 2 回実行委員会開催中止（資料送付をもって周知とする）
- DVD 作成企画書作成し，港第 14 自治会副会長山中義実氏と協議
- アイスブレーク「歌集」制作は，橋本委員に選曲を依頼し，本日までに編集作業終了
- 「平成 30 年度　港地域ささえあい講座テキスト」編集を，河野委員に，8/10 までに完成できるよう依頼

07/30
- 港公民館との協議実施
- 県コミュニティづくり推進協議会より，助成事業 2 年目の助成金 3 万円振込有

08/01
- 河野委員と DVD 制作及び，講座テキスト編集等の工程について説明する.
- 南部地域包括支援センターとの協議実施（プログラムの展開，講座テキスト原稿等）

08/03
- 第 2 回管内 13 の介護事業所関係者意見交換会開催
（講座テキスト作成，施設見学研修の受け入れ，展示について）

08/05
- 菊川市社会福祉協議会と協議

08/06
- 施設見学研修会参加申込書作成，事務局に送信
- 講座テキスト編集作業
- 講座 DVD 制作に関する PPT（タイトル）作成作業

08/08
- 講師からの講座テキスト原稿確認

08/18
- ワークショップに関する演習教材準備作業実施　事務局との連絡調整
- 第 3 回実行委員会関係資料作成作業
- 講座テキスト概要（第 3 回実行委員会用）印刷製本作業
- DVD 制作に関するタイトル制作（PPT）作業実施

08/27
- 講座通信第 3 号発行